

平成十八年二月七日受領
答弁第二六号

内閣衆質一六四第二六号

平成十八年二月七日

内閣総理大臣 小泉純一郎

衆議院議長 河野洋平殿

衆議院議員鈴木宗男君提出対北朝鮮交渉におけるミスターXの役割等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出対北朝鮮交渉におけるミスターXの役割等に関する質問に対する答弁書

一について

御指摘の「国家と外交」の出版に際して、田中均氏から出版届は提出されていない。なお、同氏は、平成十七年十一月十九日前に外務省を退職しており、出版届を提出する必要はない。

二及び三について

田中均氏が外務省アジア大洋州局長であった時期に、同氏が北朝鮮のどのような人物と個別の接触を行ったか等について明らかにすることは、今後の日朝間の協議に支障を来すおそれがあることから、外務省としてお答えすることは差し控えたい。

四について

拉致被害者五名の方々の帰国を実現させるに当たっては、政府としては、可能な限り早期の帰国を実現させるべく、北朝鮮側に働きかけ、先方との間で滞在期間を一週間から二週間とすることで調整をしたとの経緯がある。